

令和4年度日本行政書士会連合会と関東地方協議会との連絡会

日 時	令和4年12月1日（木）午後2時～12月2日（金）正午
場 所	ホテルニューイタヤ（栃木県宇都宮市大通り2-4-6）
当 番 会	栃木県行政書士会
参 加 者	本会より古川正美（会長）、嶋田広一・木村司・竹内崇・増戸美幸（副会長）、若山民雄（建設部長）、佐藤鉄也（運輸交通部長）大澤泰弘（総務部副部長）8名のほか、各単位会（千葉、栃木、埼玉、群馬、長野、山梨、静岡、新潟、東京、神奈川）から110名、日行連から役員事務局4名、合計127名
日 程	1日 14:00～ 開会式 14:45～ 意見交換会 ①会長会 ②建設環境業務 ③運輸交通業務 ④デジタル推進関係 ⑤総務部事業関係 18:00～ 懇親会 2日 9:00～ 全体会（日行連との連絡会等） 11:50～ 閉会式

当番会である栃木県行政書士会の進行により、開会式の後、関東地方協議会安野光宣会長、栃木県知事福田富一氏、宇都宮市長佐藤栄一氏、日行連常住豊会長からのご挨拶がありました。

分科会は5つの部門に分かれ、各単位会の取組みや、活動事例紹介等、非常に活発で有益な意見交換が行われ、その後の懇親会では、部門の垣根を超え、各単位会の動向などについて、より広い視点での意見交換をすることができたものと感じます。

2日目は全体会として、常住会長より、日行連の課題と事業の説明、質疑応答、意見交換が行われ、日行連と単位会とが連携して、行政書士制度をより一層推進していく旨を確認しました。また、日政連井口由美子会長からも、日政連の活動について、詳細な説明をいただきました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、規模縮小傾向であった本連絡会も、今回は一定程度緩和して、従来のものに近い形で開催となりました。

本連絡会によって、行政書士会としての新たな課題だけでなく、発展する可能性、取り組むべき事業など、様々な気付きがあり、非常に有益であると感じました。

新型コロナウイルス感染症による社会生活の様々な変化に対応するべく、我々行政書士も大きな変革が求められています。各会員が努力することはもちろんですが、日行連が、行政や各関連団体に対して行っている力強いアプローチと、その詳細な活動のご説明について、常住会長より直接お聞きすることができたことで、行政書士制度の未来に大きな期待感を持つことができました。

資料や詳しい内容につきましては、事務局または参加者までお問い合わせください。

（運輸交通部長 佐藤 鉄也）

